





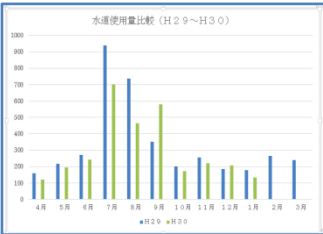

平成 3 0 年度 学校版環境 I S O への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
阿蘇	阿蘇市	阿蘇中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	<p>【全校集会での生徒会テーマの発表】</p>  <p>【生徒総会での各委員会取組の宣言】</p> 	<p>【生徒用宣言項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○持続可能な開発のための教育（ESD）を踏まえ、リサイクル運動に取り組みます。 ○移動教室時、昼休み、清掃時の電気の消し忘れゼロを目指します。 ○給食の残滓ゼロを目指します。 ○清掃時はバケツに水を一杯だけ溜めて使い、節水に努めます。 ○花壇を整理し、花と緑を増やします。 ○ゴミを種類ごとに分別・整理します。 ○ペットボトルのふたを集めます。 <p>【教師用宣言項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給食の残滓ゼロを目指します。 ○校舎・校庭の美化に努めます。 ○花壇の整理・緑化推進に努めます。 ○再利用可能な紙はゴミとして出さず、リユースに努めます。
行動	<p>【日々の掃除活動の記録表・後片付けの整理】</p>  <p>【無言清掃の取組の様子】</p> 	<p>【生徒の活動】</p> <p>①清掃活動の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○掃除三原則（無言清掃・時間いっぱい・後始末）など清掃活動の共通実践事項をもとに、生徒の主体的な清掃活動を進めた。 ○掃除場所担当カードをもとに、掃除道具の把握、掃除方法、役割分担、目標を話し合いで行った。 ○掃除開始5分前に集合し、担当の先生と挨拶し、掃除終了後に集まって反省会を行った。 ○ゴミ収集は美化委員が分担して行き、ゴミの分別・減量化について呼びかけ、ゴミを減らす努力を行った。 ○清掃活動では掃除三原則を心がけて、生徒・教師とともに一生懸命取り組んだ。 <p>②委員会活動の充実</p> <p>学活や放課後、委員会などの時間を利用して美化委員会、給食委員会、環境委員会が様々な活動を進めた。</p> <p>○美化委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除時間の活動 <p>美化委員会は掃除の時間に当番制でゴミ集めを行ったり、裏紙の分別を行ったり、臨機応変に学校を美しくするために働いている。また、当番制で校内を見回り、掃除三原則を心がけているかチェックを行った。</p> ・美化コンクールの実施 <p>環境美化の意識を高めることを目的に、学期に1回、美化コンクールを行った。</p> ・資源ゴミの分別 <p>学校内で収集した資源ゴミを細かく分別し、リサイクルに努めた。</p>

	<p>【リサイクルのため袋に詰めた牛乳パック】</p>  <p>【裏紙の整理・分別ゴミ箱】</p>   <p>【除草作業の取り組み】</p> 	<p>○給食委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残滓ゼロ活動 毎日残滓ゼロを目指すため、昼の放送や生徒集会などで呼びかけを行った。学期に一回の残滓ゼロコンクールをとおして顕著な取組のクラスを表彰すると共に、取組の奨励を行った。 ・牛乳パックのリサイクル 紙パックのリサイクルとして、牛乳パックをトイレトーパーに変える取組をしている。パルプに変えやすいようにパックのたたみ方を統一し、給食委員で毎日、全校生徒・職員分の牛乳パックを袋にまとめて送っている。今年度は11月6日までに79日間で約3万4千パックのリサイクルを行い、34個のトイレトーパーが学校に届いた。 <p>○環境委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の花壇・農園の整備を行った。 ・1学期に花壇コンクールを行い、クラスの生徒への意識を高め、学級花壇の整備に努めた。 ・プランターの土を廃棄せず、再利用した。 ・定期的に除草作業を行った。 ・節電・節水の呼びかけを推進した。 ・ストーブに使用する灯油の管理、節約に努めた。 <p>【教師の活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①裏紙使用運動 印刷時の試し刷りや職員向けの書類などに裏紙を使用した。 ②ゴミ分別の徹底 職員室に分別ゴミ箱を設置することで、ゴミの分別を徹底した。 ③環境の整備 生徒会を中心に、日頃から学校環境の美化に努め、清掃活動や環境活動に取り組むための意識向上に努めた。 ④ペーパーレス化 職員研修等でのペーパーレス化の試験的实施に取り組んだ。必要な情報との線引きを共有しながら、取組を進めている。 <p>【PTAによる活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①除草作業 PTA環境委員を中心に、学年ごとに期間を決めて除草を行い、教育環境を整えた。 ②制服のリユース 前年度の2月の3年生の保護者会にて、卒業式、退任式後のリユースについてのお願いをした。今年度、男子制服5着、女子制服7着のリユースがあった。
<p>記録</p>	<p>【給食の残滓量のチェック表】</p> 	<p>【給食の残滓量のチェック】</p> <p>給食委員会の活動として、給食後の食缶の片付けを行い、担当職員を中心に毎日の給食の残滓量のチェックを行った。学期に一回行う残滓ゼロコンクールの取組や、日々の食育をとおして給食の残滓ゼロの意識を高めた。特に2、3年生では、残滓ゼロの日が続いたクラスが多かった。</p>

	<p>【灯油の給油日程・数量の管理表】</p>  <p>【水道使用量の比較 (H29~H30)】</p> 	<p>【灯油の給油日程・数量管理】</p> <p>環境委員会の活動として灯油の給油日程・数量の管理を行った。</p> <p>この冬季の石油ストーブの利用方法については、各クラスに掲示を行い、環境委員会の管理のもと、コードの貸し出しや灯油の運搬・給油の活動を行った。</p> <p>また灯油の給油については、環境委員会での決められた手順のもと、日程や数量を把握するために管理表に記録するとともに、その節約の意識を持ってクラスでの呼びかけなどの活動に取り組んだ。</p> <p>【水道使用量の推移】</p> <p>昨年度と比較して、8月のプール使用（水泳）のため9月の水道使用量が大きく増加したが、全体的には年間を通じて水道使用量が減少した。</p> <p>2月～3月に向けて、継続した水道使用量減少の意識を図り、取組を進めるとともに、次年度の目標を図る。（必要な使用量については十分に確保し、使用量が減少した今年度の数値に近いものとする。）</p>
<p>見直し</p>	<p>【タブレットによるペーパーレスでの研修】</p>  <p>【展示したペットボトルキャップアート】</p> 	<p>【昨年度からの見直し】</p> <p>○昨年の課題に挙げられた 8月の空き瓶回収は、空き瓶の数の減少と地域の生徒数の減少に伴い、本年度から実施を取りやめた。</p> <p>【今年度の取組の見直し】</p> <p>○校内研修で取り組んだ業務改善の視点での職員室内の環境整備をとおして、いっそうの教育環境の改善に努めていくことができると感じた。またタブレットを活用して職員研修等でのペーパーレス化の実施に取り組んだ。次年度に向けてより多角的な視点で見直しと改善の実施を進めていく必要があると感じている。</p> <p>○ボランティア委員会を中心に収集したペットボトルキャップを用いて、学習成果発表会でキャップアート展示を行った。本来、「ワクチン」「栄養給食」「文房具」の支援につなげる目的の収集であるため、その収集及び、展示、また展示後のキャップの取り扱いについて、環境と福祉の視点で計画的に取り組むとともに、保護者や地域の方への発信をすることが必要であると感じた。</p>

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○各委員会活動の年間活動計画をもとに取組を行い、各委員会ともにスムーズに活動することができた。</p> <p>○教職員の紙の使用量を抑えるために印刷するときに極力裏紙を使用するように呼びかけた。裏紙の整理をし、取りやすいように裏紙専用の箱を作り、利用しやすいように工夫した。</p> <p>○PTA環境委員を中心に、1学期に2回、2学期に1回、学年ごとに校内除草作業を実施し、学校（生徒・職員）と保護者が一体となって取り組むことができた。</p>	<p>△学校におけるゴミの量や電気使用量、水道使用量の推移を公表するなど、目に見える形で発信し、生徒や保護者、教職員の環境問題に対する意識を高めていく必要があると考える。</p> <p>△教育環境の整備において、全職員共通理解のもと多様な視点での点検及び確認を行い、次年度に向けて、更により良くしていくための準備をする必要がある。</p>